平成２９年度　東大和市地域自立支援協議会
生活　部会　活動報告

１、平成２９年度の活動テーマ**「まちに出よう」**

（自立支援協議会の大テーマ「障害者の地域での共生生活を実現するために」を踏まえた小テーマ）

① 地域の中での障害者の共生生活を実現する、ということを念頭に、障害者が外出するに当たり、外出先やその経路でどのような点を工夫・支援することが有効かを把握する。（アンケート方式）障害者差別解消法に基づいた、だれもがくらしやすいまち・東大和に向けての取組みとする。

② ①について集約した事柄を、市民や事業者に知っていただく。

③ 平成 29 年度はアンケートを作成し、集約。翌年度に市民や事業者に周知していきたい。

２、活動実績

回目	日時	活動場所	内容	備考
1	4 月 25 日（火） 14:00～15:30	市役所会議棟	委員紹介、正・副部会長選出 28 年度活動報告、29 年度活動計画	
2	6 月 28 日（水） 13:30～15:30	中央公民館	アンケート調査作成・検討 全体スケジュールの検討	
3	8 月 21 日（月） 13:30～15:30	市役所会議棟	アンケートの実施方法及び日程について アンケート内容検討	
4	１２月２１(月) 13:30～15:30	市役所会議棟	アンケート調査経過報告 アンケートの進め方について、グループ内検討	
5	２月５日(月) 13:30～15:30	市役所会議棟	グループごとによるアンケート調査結果取りまとめ報告 次年度の取り組みの方向性について（啓発資料の大まかな骨子、活用方法のあり方）	

３、活動の成果（自立支援協議会の大テーマ「障害者の地域での共生生活を実現するために」に向けて）

・今年度は「まちへ出よう！プロジェクト」として、部会員を３グループに分け、障害種別ごとのアンケートによる聞き取りを実施した。（11 種別）

・この取り組みの趣旨を理解していただき、当事者やご家族の方には熱心にお答えいただいた。一方、「困っていることが何か、と聞かれてもどう答えたらよいかわからない」という声や、困らないように周到に準備して外出している、等の実態も浮き彫りにされている。

・直接当事者から話を聞くことは、部会員自体にとっても多くの気付きもあり、有意義であった。

・実質的には９月～1 月の聞き取り期間になったが、日程調整の面では厳しい部分もあった。

４、活動の反省点・次期への取り組み課題

◎聞き取った内容を大まかに分類すると、障害理解の促進、具体的な機関や事業所への働きかけ、制度上の課題、に分類される。今後の方向性としては、**行政機関・公共機関及び民間事業者へのはたらきかけを主体にした啓発資料**を作成する形で進める。

・障害者差別解消法の基本理念を知らせることが必要。すでに本市で作成した啓発資料、医療機関に関しては厚生労働省からの基本指針等、既存のものを有効活用していきたい。

・次年度半ばには資料作成を終え、後半には実際に配布、周知する活動に取り組みたい。

・次年度末を想定し、啓発のための研修会を実施したいと考えている。

・市内の商工会、医師会、薬剤師会等、既存の組織を活用して相談・周知する手立てをとっていきたい。